

患者さんを家族のように愛する・いい医療をより多くの患者さんへ

奈良県西和医療センター情報誌

# ファミリー

～みむる～

復刊  
第8号  
平成30年  
5月



新任医師紹介  
診療科紹介:泌尿器科  
病気のはなし:尿失禁について  
各部門情報:排尿ケアチーム・薬剤部  
西和医療センターだより  
公開講座案内



地方独立行政法人 奈良県立病院機構

奈良県西和医療センター

Nara Prefectural Seiwa Medical Center

# 新任医師紹介

平成30年4月付け

## 産婦人科部長



いたに よしお  
井谷 嘉男

■ 専門分野 婦人科腫瘍、緩和医療  
■ 専門医  
日本婦人科腫瘍学会専門医・指導医、日本臨床細胞学会細胞診専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医

## 消化器・糖尿病内科部長



よしだ もとゆき  
吉田 太之

■ 専門分野 消化器疾患  
■ 専門医  
日本内科学会総合内科専門医、日本消化器病学会指導医・専門医、日本消化器内視鏡学会指導医・専門医

## 消化器内科部長 中央内視鏡部部長



もりおか ちえ  
森岡 千恵

■ 専門分野 消化器疾患  
■ 専門医  
日本消化器内視鏡学会指導医・専門医、日本消化器病学会専門医、日本内科学会認定内科医

## 腎臓内科部長



もりもと かつひこ  
森本 勝彦

■ 専門分野 腎臓内科、透析、および一般内科  
■ 専門医  
日本内科学会総合内科専門医、日本腎臓学会腎臓専門医・指導医、日本透析医学会透析専門医・指導医

## 消化器・糖尿病内科副部長



あいざわ しげあき  
相澤 茂幸

■ 専門分野 消化器疾患  
■ 専門医  
日本消化器病学会専門医、日本内科学会総合内科専門医、日本肝臓学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本救急医学会専門医

## 消化器内科副部長



さいとう こう  
齋藤 恒

■ 専門分野 消化器疾患  
■ 専門医  
日本消化器病学会指導医・専門医、日本内科学会総合内科専門医、日本消化器内視鏡学会専門医

## 放射線科医長



まえだ しんさく  
前田 新作

■ 専門分野 画像診断、IVR  
■ 専門医  
日本医学放射線学会認定放射線診断専門医、日本IVR学会認定IVR専門医

## 小児科医員



やぶもと ひとみ  
藪本 仁美

■ 専門分野 小児科一般  
■ 専門医  
日本小児科学会小児科専門医

## 小児科医員



あきさだ なおひろ  
秋定 直宏

■ 専門分野 小児科一般  
■ 専門医  
日本小児科学会小児科専門医

## 消化器内科医員



たなか みさこ  
田中美彩子

■ 専門分野 消化器疾患  
■ 専門医  
日本内科学会認定内科医

## 消化器内科専攻医



はなだ じゅんいち  
花谷 純一

■ 専門分野 消化器疾患  
■ 専門医  
日本内科学会認定内科医

## 腎臓内科専攻医



いたの あきこ  
板野 明子

■ 専門分野 腎臓内科、透析、および一般内科  
■ 専門医  
日本内科学会認定内科医、日本腎臓学会会員、日本透析医学会会員

## 循環器内科専攻医



はっとり さとる  
服部 悟治

■ 専門分野 内科全般 および救急医学  
■ 専門医  
日本内科学会会員、日本循環器学会会員

## 小児科専攻医



ふじの まほ  
藤野 真帆

■ 専門分野 小児科一般  
■ 専門医

## 初期臨床研修医



うえやま しゅんいち  
植山 俊一

## 臨床研修医

### 初期臨床研修医



あんどう のぶあき  
安東 伸晃

### 初期臨床研修医



おくだ ゆうたろう  
奥田悠太郎

### 初期臨床研修医



きたむら しゅんすけ  
北村 俊介

### 初期臨床研修医



すぎやま ゆうや  
杉山 優弥

### 初期臨床研修医



たかしま りょうた  
高嶋 遼太

### 初期臨床研修医



たばた なるみ  
田畑 成美

### 初期臨床研修医



たまる はるな  
田丸 遥菜

### 初期臨床研修医



やまもと ゆうじ  
山本 祐司

## 泌尿器科とは

腎、尿管、膀胱、尿道といった尿路つまり尿の生成、排泄に関与する臓器や男性器に関する病気全般を治療する診療科です。

当院では2名の常勤医師、2名の非常勤医師が協力して奈良県西和地区基幹病院としての役割を果たすべく日々の診療を行っています。

排尿に関する悩みをお持ちの方や、尿検査異常を指摘された方など、お気軽に受診して下さい。



### 【当センター泌尿器科の特色】



特に泌尿器悪性疾患（腎がんや膀胱がんなど）の治療に力を入れています。中でも内視鏡手術や腹腔鏡（ふくくうきょう）手術をほとんどの疾患に取り入れ、積極的に行うことで患者さんの負担を軽くすることを重視しています。

### <外来診療担当表>

	月	火	水	木	金
一診	大山 (午前・午後)	橋村 (午前)	田中 (午前)	橋村 (午前・午後)	大山 (午前)
二診	—	大山 (予約のみ)	—	—	橋村 (予約のみ)

# 病気の話

## 尿失禁について

尿失禁とは尿が漏れてしまう状態をいいますが、その原因によっていろいろなタイプがあります。

### ● 尿失禁のタイプと症状

#### ・ 腹圧性尿失禁

重い物を持ち上げた時や咳、くしゃみなどによる腹圧の上昇で起こる尿失禁。

#### ・ 切迫性尿失禁

強い尿意とともに、尿をこらえきれずにもらしてしまう。

#### ・ 混合型尿失禁

「腹圧性尿失禁」と「切迫性尿失禁」の混合型。

#### ・ 溢流（いつりゅう）性尿失禁

尿の大部分が膀胱に残っており、あふれた尿がもれ出す状態。

#### ・ 機能性尿失禁

運動機能の障害や、認知症などのためにすぐにトイレまで行けない、あるいは排泄行為が認識できないなどの理由で起きる尿失禁。



### ● 尿失禁の原因

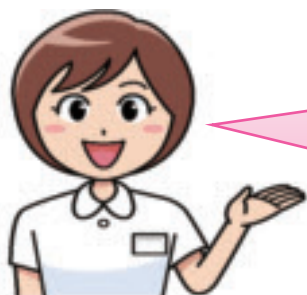
尿失禁はいろいろな原因で起こりますが、特に女性では加齢や出産後など、骨盤の筋肉が緩むことが原因で起こる「腹圧性尿失禁」や「切迫性尿失禁」が多くみられます。男性では「前立腺肥大症」が原因で起こる場合もあります。

### ● 尿失禁の治療

治療としては尿失禁の原因や状態によって (1) 薬物療法 (2) 体操療法 (3) 手術療法など様々な治療を組み合わせで行います。尿失禁でお悩みの方は泌尿器科受診をおすすめします。

## 排尿ケアチームの紹介

西和医療センターでは排尿ケアチームを設立し、排尿障害で困っている患者さまのケアに携わっています。排尿ケアチームは、泌尿器科医師・看護師・理学療法士で構成されています。多職種で専門的なアプローチを行い、一人でも多くの患者さまの排尿自立をお手伝いできるように活動しています。



「排尿」は私たちが生活していく上で  
欠かすことのできない行為です。  
トイレで排泄するのが理想だけど、病気やケガにより仕方なく  
おむつを使わなくてはいけなくなった…  
今回は、そんなときのための「おむつ」のお話です。

これから介護に必要な物を準備しようと思うのだけど…  
「おむつ」っていろいろあるから何を選べばいいのが困ってしまうわ。  
**という方も多いはず**



### 「おむつ」選びのポイントお答えします!!



長時間汚れたままだと  
**皮膚トラブル**の  
原因になります!

- 体型に合ったものを選びましょう。
- 尿の量に合わせて使い分けしましょう。  
例えば…
- ★ 尿の漏れが少しだけ  
→ いつもの下着に**尿パット**をプラス
- ★ ひとりでも排泄（おむつ交換が）できる  
→ **パンツ型**の着脱がしやすいおむつ
- ★ 寝たきりの場合  
→ 吸収力の優れた**テープ式**おむつと  
尿パットを組み合わせて使用  
**昼間は2～3時間毎に交換しおむつ内環境を  
衛生的に保ちましょう。**

昼間はパンツ型だけでも  
夜は尿パットを組み合わせて  
安心!安心!



おむつの**※助成金制度**も  
あるらしいですよ。

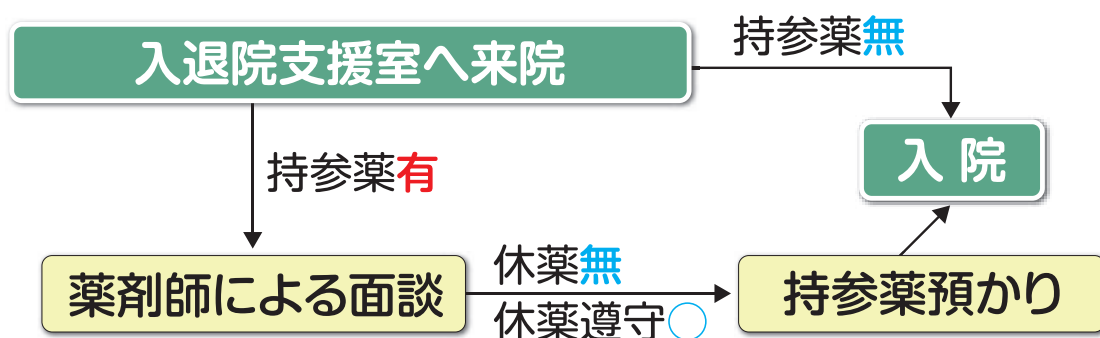
※おむつの助成金制度は、一般に介護が必要とされる方が**要介護3以上**の認定を受け**常におむつ内で排泄している**方が対象です。**給付金、現物支給**などがあります。ただし詳細は、各市町村で異なりますので、一度、問い合わせてみましょう。上手に活用してくださいね。

薬 剤 部

入 退 院 支 援 室 で の お 薬 確 認

薬剤部では、入退院支援室を通して入院される患者様に対して面談を実施し、持参薬の服薬状況を確認しています。

また、手術・処置予定の患者様に関しては、術前休薬指示がある場合、指示通り休薬されているか入院前に確認させていただきます。



※指示通り休薬出来ていない場合、入院延期となる場合があります。

現在服用されている薬をご持参下さい。

- ・当センター以外の医療機関から処方されている  
内服薬・注射薬・塗り薬・目薬・吸入薬等もご持参下さい。
- ・中止指示により一時中止中の薬もご持参下さい。
- ・過去に服用していた薬はご持参いただく必要ありません。
- ・お薬手帳やお薬説明書は必ずご持参下さい。



面談した内容は入院中の服薬に役立ちます。  
ご協力お願いいたします。



## 患者支援センター

退院後、より早く日常生活に戻れるように、入院が決まった際、患者様から情報収集を行っています。

～お聞きする情報の一例～

- ・介護認定は受けていますか？
- ・介護を手伝ってくれるご家族はいますか？
- ・おうちでは普段どのように過ごしていますか？
- ・かかりつけの医院などがありますか？
- ・入院にあたって不安なことはありませんか？



## 西和地域7町で入退院調整ルール作りが行われ、

(三郷町・上牧町・安堵町・河台町・王寺町・斑鳩町・平群町)

### 2018年2月から開始しています。

介護が必要な方が、安心して病院への入退院と在宅療養ができる環境づくりをすることが目的です。

当院に入院したら速やかにケアマネジャーまたは地域包括センターと連携をとり、入院前の生活に関する情報共有をしています。

退院が近くなれば、ケアマネジャー等地域の多職種と話し合いの場を設け、調整を開始していきます。

## ●公開講座案内●

### 地域の方対象 公開講座

当院では下記の教室を開催しています。ご希望の方は外来受診の際に医師・看護師にご相談下さい。

#### 糖尿病教室:

開催:年に4回程度

申し込み:栄養管理部

または受診時に相談してください



#### 腎臓病教室:

開催:年に5回程度

申し込み:栄養管理部・人工透析室

または受診時に相談してください

### 医療職の方 対象の講座

#### 地域医療連携講座(当院にて)

5月17日(木)

消化器外科医師 上野 正闘

虫垂腫瘍の虫垂炎

6月14日(木)

整形外科医師

タイトル未定

7月19日(木)

呼吸器内科医師

タイトル未定

\*変更の可能性もあります。  
詳細はお問い合わせ下さい。



## <当院へのアクセス>



### 患者支援センターよりお知らせ

4月から患者支援センターが新メンバーに変わりました。

これまで以上に地域住民の皆様の健康と安心を支援できるように努めて参ります。よろしくお願ひ致します。



「ファミリー」は年に4回の発刊を予定しています。地域の皆様の健康に役立ち、親しまれ愛される紙面作りをめざしていきます。

住民の皆様に役立つ情報・当院との連携についてなど、地域の登録医の先生方の投稿をお待ちしています。詳細は地域医療連携室へお問い合わせください。

地域医療支援病院として、地域と力を合わせて、これまで以上に地域包括ケア・在宅医療の推進にも力をいれて取り組んでいきたいと思っています。

発行・編集

奈良県西和医療センター情報誌

発行日 平成30年5月1日

編集者 地方独立行政法人奈良県立病院機構

奈良県西和医療センター 患者支援センター

〒636-0802 生駒郡三郷町三室1-14-16

TEL:0745-32-0505(代表) FAX:0745-31-1354

